

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2021年 7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府門真市大字門真1006番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） パナソニック株式会社 代表取締役社長 楠見 雄規
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	インダストリアルソリューションズ社 宇治工場
導 入 年 月 日	1997年12月22日
認 証 番 号	EC10J0027
基 本 方 針	電子部品の製造・販売を通して、国・地域の法規制・条例・協定及びカスタマの必要な要求事項を順守し、地球・地域・工場環境の汚染予防、並びに環境貢献と事業成長を両立する環境マネジメントを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・CO2排出量削減目標： 生産高原単位 前年比1%以上改善
目標を達成するための取組の内容	省エネWG活動による省エネ取組 ・空調の省エネ活動 遮熱シート導入による空調の消費電力の削減 フィルター清掃の徹底 事務所夏季冷房設定温度+1℃、工程の管理温度の順守 ・原動設備の省エネ活動 送水圧力の低減によるポンプ消費電力の削減
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネWGの活動として CO2削減 : 目標165.9t→実績179.4t削減 原単位改善 : 目標1.0%→実績7.5%改善
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	生産状況の回復により原単位分母である生産高の増加と、生産増に伴うCO2排出量の増加分を省エネ活動により削減したことで原単位は前年比92.5%、計画比93.4%と目標を大きく達成
事業活動に係る法令の遵守の状況	排水： 瀬戸内法を順守 大気・振動・騒音・廃棄物等： 各法令・条例の順守 遵守状況： 違反及び行政当局からの指摘・指導事項無し
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	責任者の環境内部監査研修受講を促進し、マネジメント層の環境ISO関連の力量アップを達成、引き続き責任者の100%受講を目指す。また今後はコロナ禍、BCP、生産品目の変化や生産増加に伴う新たな化学物質や廃棄物の増加、法的或いは社会的要請による有害物質管理の厳格化などの変化に対し的確に問題点を捉え迅速に対応することを目標とする。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。